

白井総長を迎え盛大に開催

鹿児島県支部総会

平成16年度校友会 県支部総会



発行 早稲田大学校友会 (鹿児島県支部)
住所 鹿児島市金生町3-1 山形屋本部秘書室
☎099-227-6310(代)



平成十六年度早稲田大学校友会鹿児島県支部総会が七月二十四日、城山観光ホテルで開催された。総会には、昨年に続き白井克彦第十五代総長ほか大学関係者を迎え、百人を超える校友・在校生父母らが参加した。

午後五時から総会が開かれ、平成十五年度事業報告及び決算報告、支部役員選任の各議題が、いずれも満場一致で承認された。総会に続き、小林栄一郎校友会代表幹事から校友会活動や大学の近況についての報告がなされた後、北九州市に創設された早稲田大学大学院情報生産システム研究科の秋月影雄委員長から同大学院の概要が紹介された。

初に大学側から口元周策創立百二十五周年記念事業募金担当部長から募金活動の状況が説明され、その後新入会員の紹介のほか、募金活動の一環として県支部が発売している焼酎「雷神」の試飲会なども行われた。

その後の講演の部では、「知の共創」と題した大学の紹介ビデオを観賞した後、「早稲田大学の新展開」という演題で白井総長の記念スピーチが行われ、校友・父母らが熱心に聴き入った。

白井総長も各テーブルを回り、在校生父母とも気さくに語り合うなど、和気あいあいとした雰囲気では進行。締めくくりは恒例により、応援部OBの西園靖彦氏（S41年商学部卒）の指揮のもと、校歌「都の西北」を斉唱し、総会は無事終了した。

続いて行われた懇親会では、最

報告：事務局長 川畑孝則
南生建設(株) 副社長 (S46年商学部卒)

出席者名簿(50音順)

氏名	氏名	氏名
赤星多香	熊原孝一郎	仏淵浩
網谷文宏	小針宣夫	内田憲
磯大辰作	七田好正	増田吉貴
板山辰郎	城光寺剛	増留満一
入来院重朝	菅原和明	益満元
入来院貞子	高柳啓一	松元秀
岩切久治	辰元茂樹	宮野賦
大井敏民	田中畑幸夫	麦野陽
大武脇通	田畑研志	百森一男
岡崎雄孝	堂免修	森山幸京
小川英司	中重真一	山根山
尾田友紀	中村名二	横吉伸康
鎌田裕史	新西園靖	吉重田
辛井田哲	西原園	吉田永
川内越博	浜園田	吉永智
川畑孝史	濱園田	吉米盛
川池孝夫	春田安	吉米盛
熊原一	藤星	米米



抽選会で
は、参加者
数を上回る
ほどの多数
の豪華景品
に、会場が
大いに盛り
上がった。
毎年のこと
ながら、ご
提供くだ
さった山形
屋さんのご
厚意に深く
感謝した
い。



稲門会と三田会が交歓する鹿兒島早慶懇親会が十二月一日、両校合わせて約百二十人の校友が集まり、山形屋ファミリーレストランで開催された。
南日本新聞社の月野浩二さん（S53年教育学部卒）が司会を務め、校歌・塾歌斉唱後、松元茂支部長、岩元恭一三田会会長の挨拶があり、加藤一徳幹事長の乾杯で懇親会へと移った。
レガッタ・ゴルフ対抗戦の結果報告の後行われた恒例のお楽しみ

両校応援部OB

毒舌合戦に大爆笑!

第11回鹿兒島早慶懇親会

その後練り広げられた両校応援部OBのユーモアあふれる毒舌合戦に両校が大爆笑のなか、全員が肩を組み、紺碧の空・若き血のカレッジソングの大合唱、エール交歓と進んだ。
最後に実行副委員長の本坊浩幸三田会幹事長より締めめの挨拶があり、万歳三唱で無事幕を閉じた。



出席者(50音順)

氏名	学部	卒年	勤務先	氏名	学部	卒年	勤務先	氏名	学部	卒年	勤務先
赤星多香	政経	S31		辛島史朗	法	S55	南日本新聞社	豊平純	政経	S48	鹿兒島市議会議員
浅野達朗	政経	H14	NHK 鹿兒島放送局	川井田哲	理工	S52	㈱川井田組	中村三郎	専工	S22	鹿兒島ヨコハマタイヤ
安楽治郎	教育	H4	三井住友海上火災保険㈱	川上大輔	教育	H6	肥後銀行鹿兒島支店	中村洋介	法	S43	KYT
池端紘一郎	一文	H14	南日本新聞社	川畑孝則	商	S46	南生建設㈱	新原晃	理工	S29	㈱新原製作所
板山辰郎	政経	S38		菊池龍夫	理工	S52	類設計事務所	浜園鉄志	商	S48	浜園鉄志税理士事務所
井上剛	政経	H6	鹿兒島市議会議員	岸本博之	商	S62	南日本新聞社	春田滋	法	S41	㈱ハルタ
入来院重朝	政経	S32		久保英司	政経	S54	鹿兒島市役所	藤川毅	経済学	H3	㈱美蓉商事
入来院貞子	一文	S33	入来花木水会	小針宣夫	教育	S44	㈱コバリ	藤安俊夫	法	S25	藤安醸造㈱
岩切久治	政経	S46	鹿兒島県庁	坂元浩幸	理工	S59	坂元通建設㈱	仏淵浩	理工	S42	㈱朝日産業
岩坪信吉	社会学	S52	岩掃	新地茂樹	政経	S50	鹿兒島市役所	増田吉治	政経	S46	㈱コマツレンタル鹿兒島
上原敏	商	S40	霧島ゴルフクラブ	仙太史博	法	H7	仙太織物㈱	増留貴朗	政経	S36	鹿兒島県議会議員
大井敏民	理工	S39	鹿兒島県知事の所有センター	高橋大祐	政経	H16	鹿兒島地方裁判所(司法修習生)	松元茂	政経	S25	鹿兒島空港ビルディング㈱
大津学	法	S52	㈱大津倉庫	高柳啓一	文	H12	宮川公認会計士事務所	宮川秀樹	政経	S48	宮川公認会計士事務所
大西洋逸	法	S30	鹿兒島海陸運送㈱	竹元明	政経	S50	鹿兒島商工会議所	百田陽一	政経	S40	鹿兒島放送
大西儀朋	教育	S59	鹿兒島海陸運送㈱	辰元茂樹	政経	S62	鹿兒島県庁	森陸男	商	S36	鹿兒島製茶㈱
大脇通孝	法	S53	大脇通孝法律事務所	堅山博美	政経	S32	㈱南日本放送	横山輝	法	H8	肥後銀行鹿兒島支店
岡崎雄介	商	S53	肥後銀行鹿兒島支店	田中徳義	商	S48	れいめい高校	吉永剛	商	S55	時報堂
尾堂友紀	理工	S49	鹿兒島共和コンクリート工業㈱	田中幸夫	理工	S41	田中幸夫建築設計事務所	吉満智孝	建築	S48	SGS 設計室
海江田悦郎	商	S48	鹿兒島市消防局	田畑研一	教育	S62	れいめい高校	米盛庄一郎	理工	S56	米盛建設㈱
加藤一徳	教育	S40	南日本新聞社	月野浩二	教育	S53	南日本新聞社	米山公章	理工	S40	鹿兒島高等予備校
鎌田裕憲	政経	S48		鶴田志郎	社会	S57	鹿兒島県議会議員				

鹿児島稲門会 堂々の2連覇

～早慶レガッタOB戦観戦記～



雄を決する戦いの始まりです。

しかし、いつものことながら、スタートラインに横一列に並ぶことが困難を極めます。

加えて今年は五艇。とうとう横一線に並べないまま、救助艇に乗った審査員に急かされてスタートという始末。

それでも鹿児島稲門会のチームワークは素晴らしく、堂々の優勝を飾りました。二年連続です。

以下、北薩三田会、鹿児島三田会ヤングチーム、鹿児島三田会オールドチームと続き、私が漕いだ北薩稲門会は最下位（これも二年連続です）となりました。

レース後の懇親会は早稲田の松元茂会長、慶應の若元会長にも出席していただいて盛大に催されました。参加者全員がスピーチを致しましたが、皆さん、話が上手です。そして、来年の本物の「早慶レガッタ」の成功を期し、和気あいあいのうちに散会いたしました。皆さまのご協力、ありがとうございました。

報告員 飯屋立夫

北薩稲門会

(S49年法学部卒)

八月八日、恒例の川内レガッタ早慶OB戦に今年も参加いたしました。昨年は鹿児島稲門会が優勝し、私の属する北薩稲門会も懇親会費の減額という恩恵にあずかりました。そこで、今年は三田会がなんと三チームを編成(例年は二チーム)し、雪辱を期してきました。しかも鹿児島三田会の一チームは全員二十代というヤングチームです。決戦の日、両校の応援団と選手全員は午前十一時ごろ、会場の川内漕艇場に集合しました。早慶の応援歌が流れるなか、いよいよ雌

司法試験合格状況

21年ぶりの首位タイ 本学から226人が合格

今年はいよいよ激しいデッドヒートを展開した。論文合格者の発表時点で、常勝校・東大に一人差でトップに躍り出て、そのまま逃げ切るかに見えたが、口述合格発表まで並ばれてしまった。しかし、本学としては一九八三年度以来、二十一年ぶりの「首位タイ」であり、誠に喜ばしい。

全体の合格率は三・四二%（前年度比〇・八四ポイント増）。合格者の平均年齢は二八・九五歳(同〇・八歳増)。合格者全体のうちで本学が占める割合は一五・二四%(同〇・三七ポイント増)と小幅ながら躍進。

ご存じのように本年四月から法科大学院が開設され、現行司法試験もあと数年を余すのみとなつてしまった。来年の合格者数は今年と同程度の千五百人、その後は二〇〇六年の八百人から漸減し二〇一〇年にはわずかに五十人になってしまうと予想される(現在、合格者数については法務省、司法試験委員会等で調整のため、変更される可能性はある)。

今年と来年が「実質的最後のチャンス」という認識の下、法職課程教室では勉強の進んだ中級者・上級者を最終合格に導くべく、少数精鋭型指導を充実させてきた。その反面、昨年までであった「入門講座」は本年度から閉鎖した。現行司法試験の受験を今から準備するのは、ちやうど超激戦期にあたつてしまうからである。正直に申し上げて、今から現行司法試験に挑戦するのは無謀である

う。いよいよロースクール改革の実質的影響が意識される時期が到来したようだ。昨今、さまざまな批判にさらされているとはいえず、法科大学院が今後の実務法曹養成の中核となることは、もはや動かしたい事実である。ちやうど制度変革期におられる学生の方々には、その点を十分認識した上で、実務法曹家になる夢を実現していただきたい。

(法務研究科教授・法職課程教室コーディネーター 大塚英明)

受験者数・合格者数

	2004年度	2003年度	対前年増減
受験者数	43,367	45,372	-2,005
合格者数	1,483	1,170	313
内女性数	364	275	89

出身大学別合格者数 (ベスト10)

大学名	2004年度	2003年度	対前年増減
早稲田大学	226	174	52
東京大学	226	201	25
慶應義塾大学	170	123	47
京都大学	147	116	31
中央大学	121	104	17
一橋大学	57	43	14
明治大学	46	33	13
大阪大学	45	32	13
神戸大学	33	24	9
同志社大学	30	29	1

稲門またも

苦杯を舐める

第38回早慶対抗ゴルフ大会

秋晴れの十一月二十一日(日)、三十八回目の早慶戦が、知覧カントリークラブにおいて行われた。我が稲門は、このところ連敗続きで、今回は何とか勝利したかったのだが、宿敵三田に及ばず、またもや苦杯を舐める結果となった。

そんな中で個人戦に優勝し、一矢を報いてくれた肥後銀行鹿児島支店長の岡崎雄介さん(昭和53年商学部卒)は、強力な戦力として今後大きく期待できそうだ。一方、このところテニス部をはじめとする早稲田大学体育局の活

躍は目覚ましく、各運動部の早慶戦はほとんど負け知らずで、日本代表選手に選出される数も、過去最高となっている。

次回春の早慶戦は、もう負ける訳にはいかない。そのためには是非多くの参加を要請したい。特に若手に大勢参加してほしいものである。幹事からもよろしくお願ひします。

報告 幹事・大西儀朋
鹿児島海陸運送(株)長
(S57年教育学部卒)

第38回 早慶対抗ゴルフ大会

順位	氏名	ハーフ		トータル	HDCP	ネット
1	岡崎雄介(W)	38	41	79	8.4	70.6
2	八尋雅彦(K)	50	51	101	28.8	72.2
3	本田秀貴(K)	41	44	85	12.0	73.0
3	樋口隆三(K)	43	42	85	12.0	73.0
3	大西儀朋(W)	37	42	79	6.0	73.0
6	秋葉重貴(K)	49	49	98	24.0	74.0
7	丸元正樹(K)	40	39	79	3.6	75.4
7	岩元恭一(K)	52	45	97	21.6	75.4
9	大津学(W)	50	50	100	24.0	76.0
9	田中幸夫(W)	49	51	100	24.0	76.0
11	新原達也(W)	39	41	80	3.6	76.4
12	中尾成昭(K)	54	43	97	20.4	76.6
13	若松泰博(K)	48	48	96	19.2	76.8
13	安楽治郎(W)	48	48	96	19.2	76.8
15	米盛庄一郎(W)	49	45	94	16.8	77.2
16	田中健作(W)	50	49	99	21.6	77.4
17	百田陽一(W)	49	49	98	20.4	77.6
18	柳田誠一(K)	45	46	91	13.2	77.8
19	宮内政一(K)	59	42	101	22.8	78.2
20	大西洋逸(W)	53	53	106	27.6	78.4
21	本坊吉朗(K)	48	55	103	24.0	79.0
22	豎山博美(W)	55	58	113	33.6	79.4
23	内村二郎(K)	56	49	105	25.2	79.8
24	新村研二(K)	46	52	98	16.8	81.2
25	岩元義弘(K)	55	52	107	24.0	83.0
26	橋口幸祐(K)	56	44	100	16.8	83.2
27	諏訪園隆(W)	49	58	107	21.6	85.4
28	栗田鍊一郎(K)	50	65	115	28.8	86.2
29	花井史仁(K)	63	62	125	36.0	89.0

えび茶ゾーン

早稲田ウィークリー

より

韓国のテレビドラマや映画が今「韓流」ともてはやされ、日本で物凄い人気である。特に「冬のソナタ」の主人公を演じたペ・ヨンジュン人気はこの夏、「ヨン様」現象として日本国中を席巻した。

れ、「韓国怖い国」というイメージが浸透していた。人々の生活が見えず、韓国はまさに遠い国であった。「韓国は結構いいよ」と言ってもなかなか信じてもらえなかった。

韓国映画は九〇年代半ばから「風の丘を越えて」、「シュリ」など日本でも評判となったが、ここ数年の過熱ぶりは異常とさえいえる。一、三十年前の日韓文化交流の貧弱さを思うと、「時代は変わった」と感じざるを得ない。

それが、今この「韓流」、「ヨン様」ブームである。現在、韓国を訪れる日本人観光客は年間二百万人をはるかに超えている。韓国という焼肉とキムチしか頭にない日本の若者が多いのも寂しいが、韓国は今や確実に近い国になった。今日の日韓交流の盛り上がり素直に喜びたい。

七六年に初めて韓国を訪ねた。軍事政権下での厳しい入国審査、乗合バスの中での銃剣による検問など、かなりの緊張も強いられた。が、一歩郊外に出ると、澄み切った青空の下に長閑な田園風景が広がり、そこには明るく生き生きと暮らす人々の姿があった。

そこで最後に韓国映画を一つお勧めしたい。カク・ジェヨン監督の「ラブストーリー(原題「クラシック」)。親子二代にわたる恋愛を描いた作品で、韓国の田園風景が美しく、心に沁み入る音楽がまたいい。

しかし、当時日本では韓国政治の強権さばかりが報道さ

(去生)